



## オーディオマルチタスク

通話中でも音楽・音声案内が聞こえる

2人の会話を入ってくる  
スッと音楽が入ってくる

「オーディオマルチタスク」は、音楽を聴いている時にインターホームで呼ばれても、バックで音楽を流したままインターホーム通話をすることができる機能だ。従来のモードであれば、音楽を聴いている時にインターホーム通話を始めたると、音楽再生モードから通話モードに切り替わるため、音楽は一度停止する。そしてインターホーム通話を終了する操作をすると、再び音楽再生モードに切り替わり、音楽が流れれるというものだった。

オーディオマルチタスクをオンにしておけば、インターホームの呼び出しに応えて通話が始まるとき自分が話すか、相手が話している間は音楽がかすかに聴こえる程度にまで音量が下がる。そして、会話が途切れるごとに、再び音楽が元の音量まで戻る。この動作をインターホーム通話が終わるまで、20Sが自動的に行ってくれるのである。

この20Sと従来のインターホームとの動作上の大きな違いは、「会話中に音楽が進んでいるか」ということ。20Sではなくて最もインターホーム通話と音楽再生が同時に動作しているため、2人の会話のバックで音楽はずっと流れている。

確かに話している間は、音楽はほ

くふたつのインターホームを実現したデュアルモジュールセナの「フルツグシップ」である二モデル「20S」。「オーディオマルチタスク」をはじめ最大8人が同時に会話をできる「ダブル・ブイントーコム」、「ボイスコマンド」や「クイックペアリング」など、従来のインターホームにはない新しい機能が注目を集めている。こうした新機能のためにモーションセンサーや「NFC（近距離通信）」といったデバイスを搭載する20Sだが、そのハイライトともいえるのが「デュアル・ブルートゥース・モジュール・システム」だ。文字通りブルートゥースのモードを2基搭載しており、インターホームの頭脳が2倍になったこ

とで、CD並みの高音質を実現し

た「HDインターホーム」モードが加わったり、最大通信距離が2kmに伸びたように、性能や信頼性が一段段にアップしている。



## 従来型にはない 注目の新機能を 多数搭載!



とんど聞こえないものの、声が切れるとスッと音量が上がってくる。

それだけに、印象としてはずっと音楽を聴いている感じである。

さらにこのオーディオマルチタスクにより、ブルートゥースで接続したナビも使えるようになる。

ただし、音楽のまことに会話中にミュートしてしまっては、肝心の音声案内を聞き逃してしまう。

そのため、設定メニューの中にある「ナビゲーション・アプリ・サポート」という項目をオンにすると、会話中でも音声案内をミュートしないようになります。会話中でも音量がそのままなので、音声案内を聞き逃すこともないだろう。

このように、インターホーム通話をしながらブルートゥースで接続した機器の音楽を再生したり、ナビの音声案内を重ねて聞くという

のは、ブルートゥースの接続が2つないと実現できないため、ブルートゥースモジュールがひとつのみのインターホームでは不可能だった。

20Sではふたつのモジュールのうちひとつがインターホーム通話を、もうひとつが音楽・ナビ再生を分担することで、同時に音を再生することができる。このように、通話用と音楽・ナビ用のインターホームが共存しているかのように動作するものが、デュアル・モジュール・システムの真骨頂なのである。